

まんなかビジョン討論会（岐阜会場）開催結果の概要

1．開催日時・会場

- ・ 日時 平成 14 年 11 月 23 日（土）13：30～15：30、快晴
- ・ 会場 県民文化ホール未来会館 5 階 大会議室

2．出演者構成

- ・ コーディネーター
吉田 良生（朝日大学経営学部教授）
- ・ 発言者
岩田 恒男（愛知県一宮市在住）
大沢 泰一（岐阜市在住）
加納 一郎（岐阜市在住）
林 仙一（美濃加茂市在住）
福田 しげ子（本巣郡真正町在住）
三浦 文彦（大垣市在住）
山田 祥子（大垣市在住）
横井 正司（愛知県中島郡祖父江町在住）
- ・ 行政側出演者
池田 豊人（国土交通省中部地方整備局企画部企画調整官）
菅野 一弘（国土交通省中部運輸局企画振興部交通・観光計画調整官）
坂本 桂二（岐阜県基盤整備部参事兼企画管理課長）
- ・ 聴講者数
95 名（男性 92 名、女性 3 名）
- ・ 会場風景



3. 主な発言要旨

[私の考える地域づくりに関して]

- ・ 国の整備方針が「国土の均衡ある発展」から「個性ある地域の発展」に転換したが、各地域が我田引水型の発展を考えていることは問題だ。
- ・ 行政はそれぞれの管轄が縦割りで、横断的な連携がうまくいかない。このような体制に問題を感じる。
- ・ 少子高齢化、人口減少という潮流の中で、住民一人ひとりの意識が変化してきている。従来型の公平・平等という行政のあり方では誰も満足しなくなっている。
- ・ 地域づくりはゆっくり、急がず、お金をかけずに進めることが大切だと感じる。
- ・ 自分の住んでいる地域の歴史やいいところというのは、普段の生活ではなかなか知り得ないことであるが、まちづくりに関わることで我がまちの魅力を発見することができる。
- ・ 我々住民は、自分たちが何をやるべきで、何ができるかを考えるべきだと思う。市民側も行政側も意識を変えて、パートナーとして取り組んでいく場づくりが必要だ。

[まんなかビジョンへの期待]

- ・ 国土交通省としてはじめて取り組む新しいビジョンなので、今までとは違う、総合的なビジョンとなるべきだ。
- ・ 地域住民が「自分たちは何ができるのか」ということについて議論したうえで合意形成し、自分たちが決めたことについては自らが責任を持つというあり方を目指す中で、国は地域と十分に議論を交わして行ってほしい。
- ・ 従来、社会資本整備は経済効果重視で進められてきた感がある。これからは生活者の尺度で評価していくべき。生活者の尺度は多様で、指標をつくることは難しいとは思いますが、ぜひ取り組んでいただきたい。

[中部の目指すべき方向（7つの目標）のうち、岐阜県中南部地域や中部地域全体にとって特に重要な目標（意向アンケート結果*を受けて）] *意向アンケートの結果は末尾掲載

- ・ アンケート結果は、我々の意識をピッタリと言い当てていると思う。～ については、従来型の工業や経済に基づいたハード中心であるが、この地域については、～の生きがいや住みやすさ、ゆとりというものが重視されている。
- ・ 文明の発展は、人間の利便性の追求であったが、これからは人間のエゴと環境のバランスを考えながら、社会資本整備を行っていくべきである。
- ・ 岐阜地域は自然環境や農業を残しつつも都市化していて、名古屋という大都市と農山村との間に立つ中間的な位置づけにある。この地域が目指すべき姿は、名古屋を中心とした道州制的なまちづくりをおこなう中で、相互に連携していくべきだ。

[その他、まんなかビジョンについて]

- ・ 社会資本整備は長期的に柔軟にあるべきで、そのためには安定した財源がなくてはならない。

4．意向アンケート結果

会場にお越しいただいた聴講者やコーディネーター、発言者の方に対し「意向アンケート」を実施し、その場で、「中部の目指すべき方向（7つの目標）」について、岐阜県中南部地域と中部地域全体のそれぞれの観点から最も重要と思われる項目について尋ね結果を発表した。結果は以下の通りである。

- ・ 岐阜県中南部地域では、「中部の豊かな自然環境、歴史、文化などの保全・再生・創出活用」が35票と最も多く、次いで「誰もが生き生きとして暮らせる豊かでゆったりとした生活環境の実現」が21票、「東海環状都市圏などの形成」が19票となった一方で、「産業の国際競争力の強化」（3票）「名古屋の魅力向上と拠点都市のアップグレード」（2票）については、得票数がわずかとなっている。
- ・ 一方、中部地域全体では、「東海環状都市圏などの形成」（19票）「日本のまんなかである優位性を活かし、国土の東西・南北軸の再生や交流拠点整備による国内外交流の推進」（18票）「中部の豊かな自然環境、歴史、文化などの保全・再生・創出活用」（17票）とトップ3がほぼ僅差であり、7つの項目全体にまんべんなく得票が分布している結果となった。
- ・ 「東海環状都市圏などの形成」や「中部の豊かな自然環境、歴史、文化などの保全・再生・創出活用」については、岐阜県中南部地域、中部地域全体ともに得票が多く、共通の重点課題という意識が見られる。

〔意向アンケート得票数〕

